



【堀井外務副大臣のウルグアイ訪問】～ 戦略的關係構築のステージへ

1月、堀井巖外務副大臣がウルグアイを訪問し、コッセ副大統領やルベッキン外務大臣と会談しました。同副大臣は、ウルグアイの、包括的・先進的環太平洋経済連携協定（CPTPP）への加入交渉開始を歓迎し、また、双方は、今後もハイレベルの対話を通じた二国間関係の深化を図ることで一致しました。実質1日みのウルグアイ滞在にも関わらず、堀井副大臣は、バルベルデ内務大臣代行、バルコルバ経済財務大臣代行、スカシ外務次官ともそれぞれ会談し、加えて、ウルグアイの日系人、日系企業関係者、JICA関係者とも懇談を行いました。

また、同副大臣はルベッキン外務大臣に対し、今年度、オルシ大統領を日本に公式招待する旨を伝達し、即時に、招待の受諾が伝えられました。具体的な訪日スケジュールは未定ですが、オルシ大統領の訪問が充実した内容となるよう、現在、関係者間で調整を進めています。



【G77とCELAC議長国に就任】～ 国際場裏で高まる存在感

1月、ウルグアイは、国連の枠組みにおける最大の組織であるG77の議長国に就任しました。同組織は発展途上国134か国が加盟し、加盟国の集団的経済利益の推進のためのグローバルサウスによる連携の場であり、南南協力の推進等が目的です。

一方、3月にはラテンアメリカ・カリブ地域33か国が加盟するCELAC議長国に就任しました。中南米諸国の共通課題として、食料安全保障、エネルギー転換、自然災害危機管理、高等教育、生産・商業の発展、麻薬犯罪組織対策を挙げ、加盟国間の協力を強化する意向を述べました。日本と同様、ウルグアイは多国間枠組みを重視しており、今後も国際社会で積極的な役割を果たしていくと期待されます。



【メルコスール】～ 歴史的なEUとの自由貿易協定が発効間近

1月、長年の紆余曲折を経てEUメルコスール自由貿易協定（FTA）が署名に至りました。更に、ウルグアイ議会は他国に先駆け同協定を批准し、それを受け、5月1日から同協定が暫定的に適用・発効する運びとなりました。暫定的な適用とはいえ、関税の段階的削減、貿易障壁の撤廃などは実施されるため、ウルグアイの輸出拡大と投資誘致にとって非常に大きなチャンスを迎えています。



【オルシ大統領の訪中】～ 深まる二国間経済関係

2月、オルシ大統領は、複数の閣僚等の政府関係者、百名超の企業関係者を伴い、中国を国賓訪問し、習近平国家主席、李強首相、趙樂際全人代常務委委員長とそれぞれ会談を行いました。共同声明が発表された他、教育及び科学技術分野の協力を中心とする多数の合意文書等が署名されました。

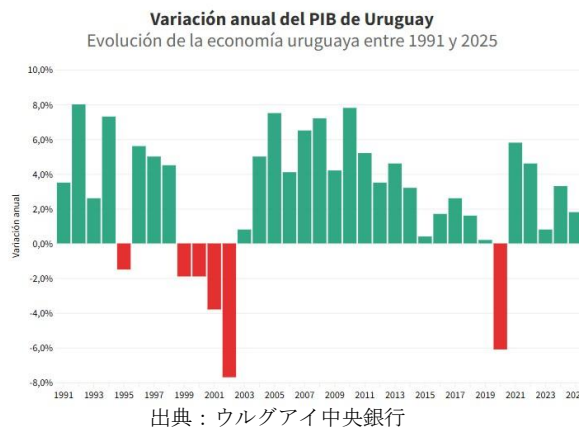


中国は、過去10年以上にわたりウルグアイの最大輸出先国となっており、輸出全体の約4割を占め、大豆、セルロース、牛肉などが主要輸出品となっています。同様に、輸入全体の約4割を占める最大の輸入先国でもあり、主に電気機械類、自動車、化学製品等が輸入されています。



【経済成長率】～2025年の経済成長率は1.8%と発表

ウルグアイ中央銀行が公表した国民経済計算報告書によると、2025年のウルグアイの経済成長率は1.8%となり、2024年の3.1%から減速するとともに、5か年予算に盛り込まれていた2.6%という見通しを大きく下回る結果となりました。ウルグアイ中央銀行によると、石油精製活動、食品生産産業、商業活動の活性化、そして食品・飲料供給部門の活性化などが成長を下支えした一方で、建設部門の低迷と発電量の減少が目立ち、前年比で減速につながりました。関連して、オドネ経済財務大臣は経済活動が予想を下回って推移していることを認め、現在2.2%とされている2026年の成長見通しが下方修正される可能性を示しました。



【治安対策】～ 待望の国家治安計画の発表

3月、国民の関心が最も高い治安問題への対策の要となる国家治安計画が発表され、省庁横断的な対策を含む130以上の具体的な措置が提示されました。国境における軍の権限強化による国境管理の厳格化、犯罪多発地域における殺人及び暴力の削減を目指す抑止策、不処罰の是正、犯罪者の手に武器が渡ることを防止するトレーサビリティーの強化、武器密輸・不法所持に対する刑罰の見直し、犯罪組織ネットワークの解体、不正資金の追跡、刑務所改革（危険な犯罪者をハイセキュリティ刑務所に送還する一方、一般収監者に対する社会復帰プログラムの提供等）などが盛り込まれました。10年にわたる長期的な国家戦略を策定したこと自体は評価に値する一方、その実効性につき、実施能力や必要な予算・人的資源の確保を含め、今後の展開を注視していく必要があります。

同計画の発表を行ったネグロ内務大臣は、昨年は前年と比べ殺人事件数が減少した他、ジェンダーに基づく暴力の減少、3千丁以上の銃器の押収、9トン以上の麻薬の押収、不正資産計2億5千万ドルの没収、また、麻薬犯罪組織の主犯格を相次いで逮捕した成果を強調しました。



【天皇誕生日レセプション】～ 日本の魅力をTV生中継

3月に大使公邸で開催した天皇誕生日レセプションには、ラソ国防大臣やフラッティ農牧水産大臣を始めとする政府要人、外交団、幅広い各界の代表の皆様約300名に出席頂きました。モンテビデオ太鼓の力強い演奏、盆栽展示、寿司デモンストレーション、お茶のデモンストレーション、日本車及び日本企業の展示も大変好評で、複数の当地主要TV局が生中継を行い、ウルグアイで日本のプレゼンスを高める最高の機会となりました。



【哨戒艇受注契約の破棄】～ 海上法執行強化のため、別途取得を追求

3月13日、政府は、哨戒艇2隻の建造を請け負っていたスペインの造船会社であるカルダマ社との受注契約の破棄を発表しました。同社は、前政権下の2023年に82百万ユーロにおよぶ契約を締結しましたが、入札の必要条件であった保証会社に実態の無い企業を記載していた事実が明らかになった他、建造中の哨戒艇に関する技術的問題を含む複数の問題点が指摘されていました。政府は、法的取り決めに従い受注契約を破棄し、資産の回収及び責任追求のための措置を講じると説明しました。

当面の措置として、米国から沿岸監視用の高速艇の提供を受ける運びとなったものの、排他的経済水域内外におけるIUU漁業や麻薬犯罪組織の取締強化の必要性が叫ばれる中、海洋状況の把握及び海上法執行能力の向上のために哨戒艇が必要不可欠なことに変わりなく、引き続き別途取得を追求する方針です。



【大使館イベント①】～ 初の盆踊り練習会の試み

2月、大型スポーツクラブにて、ウルグアイで初めてとなる、盆踊り練習会が行われました。

当地の日系人や、公募にお応え頂いたウルグアイの方々にお集まりいただき、アルゼンチンからお招きしたリリアナ・アキタ講師の指導の下、盆踊りの練習会を行いました。当日は、日本人会のモンテビデオ太鼓（和太鼓）の伴奏の中、参加者のテンションは、みるみる上がりました。多くの方にとっては初めての盆踊り体験でしたが、参加頂いた皆様の熱意と関心はとても高く、気付けば皆が円となって、まるで昔からそうしていたかのように、盆踊りを踊られていました。



【大使館イベント②】～ 日系企業従業員の日本理解を促進

3月にウルグアイで活動する日本企業の従業員向けに日本理解促進イベントを大使公邸で開催しました。本イベントには当地で活躍されている日本企業の代表と従業員約100名にご参加いただきました。

中南米で活躍をされている日本の弁護士の柏弁護士から日本企業の特性についての講義や、当館職員からの日本語、日本文化、日本のサブカルチャーについての講義を行い、茶道の実演、日本食の試食が行われました。参加者の満足度も高く、ウルグアイの従業員にとって日本理解の一助となるイベントになれたかと思えます。





【大使館イベント③】～日本食普及、日本人会・JICA と連携して

3月30日、日本人会（AJU）による日本食普及イベントが、大使館とJICAが協力する形で実施されました。会場となった大使公邸には、日本食に関係のあるモンテビデオ近郊のレストランや食材輸入業者等約90名が参加。大使館の岡本料理人が、寿司と卵焼きの作り方を実演しながら説明、参加者は熱心に説明に耳を傾け、流れるような料理人の仕事に感嘆の声と拍手喝采が湧き上がりました。AJUのメンバーもたこ焼きの作り方を披露したほか、事前に日本食を用意。参加者はこれらを試食しながら懇談。日本食への高い関心が感じられました。引き続き、関係する機関と連携して活動し、日本食のみならず、ウルグアイにおける日本への理解が更に深まっていくことを期待しています。



(了)